

ドアポケットイルミネーション

取付要領書

品 番

0852D-76030

構成部品

① ② ③ ④ ⑤ ⑥	符号	品 名	個数
①	①	LED ユニット (81080-50110)	2
②	②	ワイヤーハーネス RH 用 (紫色)	1
③	③	ワイヤーハーネス LH 用 (青色)	1
④	④	両面テープ	1
⑤	⑤	ウレタンシート	4
⑥	⑥	型紙	1

取付上の注意

この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

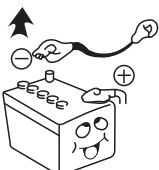
⚠ 注意……………注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷するなどの恐れがあることを記載しています。

👉 アドバイス ……………スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

1. 車両を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
2. 下回り作業中は安全に配慮し、エンジン始動および乗車は絶対しないでください。
3. 車両部品の取り外しに際しては、タッピング・スクリューや、ボルト、ナット類を紛失しないよう 部品毎に整理し、復元作業に間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取り外した部品に傷をつけないよう取り扱いには十分注意してください。
4. バッテリーマイナスターミナルを切り離した場合、その後 90 秒間は作業を始めないでください。何らかの原因でエアバッグが作動したとき、生命にかかわるような重大な事故につながる恐れがあります。
5. バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な装備があります。作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。
6. 脱脂剤等を使用する際は、火気を近づけないよう十分注意してください。


取り付ける前に

- バッテリーの(－)側ケーブルをはずす



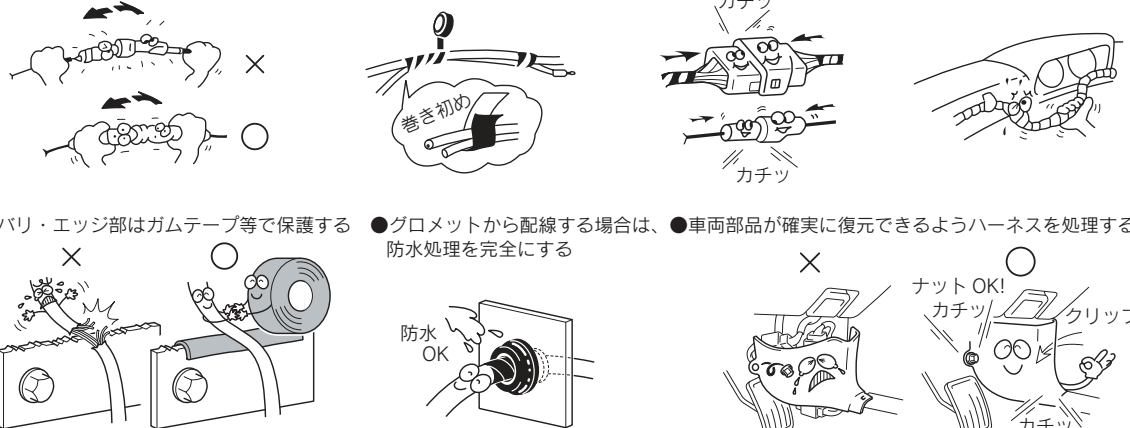
部品の取り付けは

- 寸法にあった工具を使う
- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する

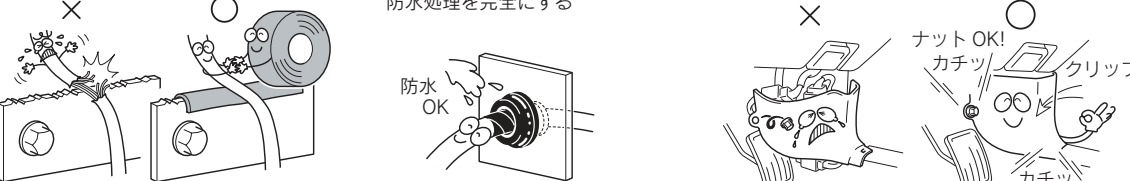


配線は

- コネクタは本体を持ってはずす
- 車両ハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する
- コネクタは確実に接続する
- 無理に引っ張らない

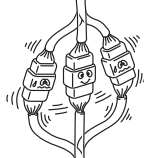


- バリ・エッジ部はガムテープ等で保護する
- グロメットから配線する場合は、
- 車両部品が確実に復元できるようハーネスを処理する
- 防水処理を完全にする




クランプは

- はだか線にはクランプしない
- 余った部分をカットする
- カットした端末が他のハーネス
- コネクタを異音が出ないようにと接触しないように注意する
- コネクタを異音が出ないようにクランプする



取り付け完了後は

- 取りはずした車両部品は確実に復元する



始業点検

- ・ ヘッドランプ、フォグランプ等、電気系統の作動確認を実施してください。

取付に必要な工具等

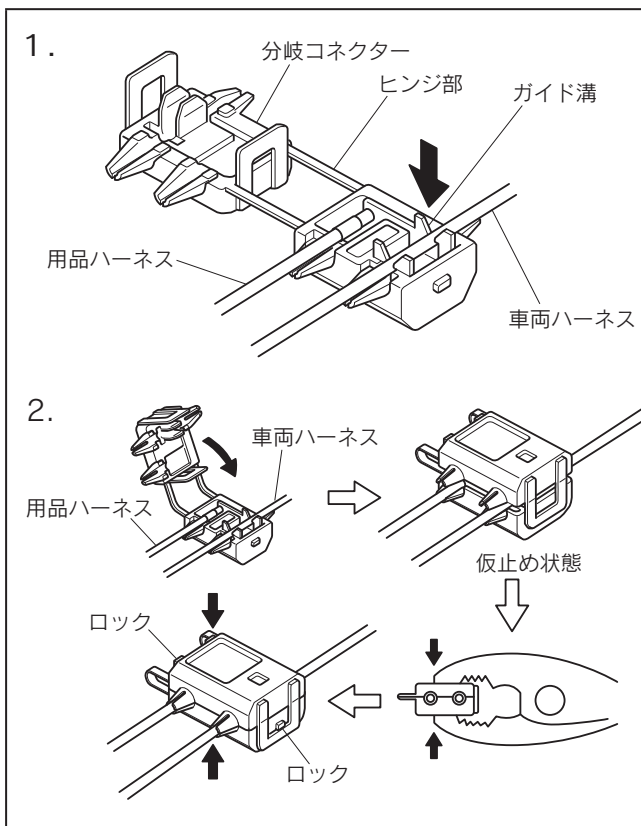
- | | | | |
|--------|--------------------------|------------|---------|
| ・ 一般工具 | ・ モールディングリムーバー | ・ マスキングテープ | ・ 保護テープ |
| ・ ウェス | ・ 脱脂剤等 | ・ ハサミ | ・ スケール |
| ・ ケガキ針 | ・ 電動ドリル (Φ 3, Φ 7, Φ 10) | ・ ガムテープ | ・ ヤスリ |

分岐コネクターの接続方法

分岐コネクター使用上の注意事項

7. 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
8. 分岐コネクターは、他の用品が装着されている場合でも必ず、車両ハーネスに接続してください。
9. 分岐コネクター接続時に、クリック音と合わせてロック (2箇所) が確実に嵌合した事を確認してください。
10. 接続するコネクターの端子番号および、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
11. 同一コネクターに複数の分岐コネクターを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
12. ヒンジ部が破損しても確実にロック (2箇所) できれば性能上問題ありません。
13. 一度使用した分岐コネクターは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクターを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

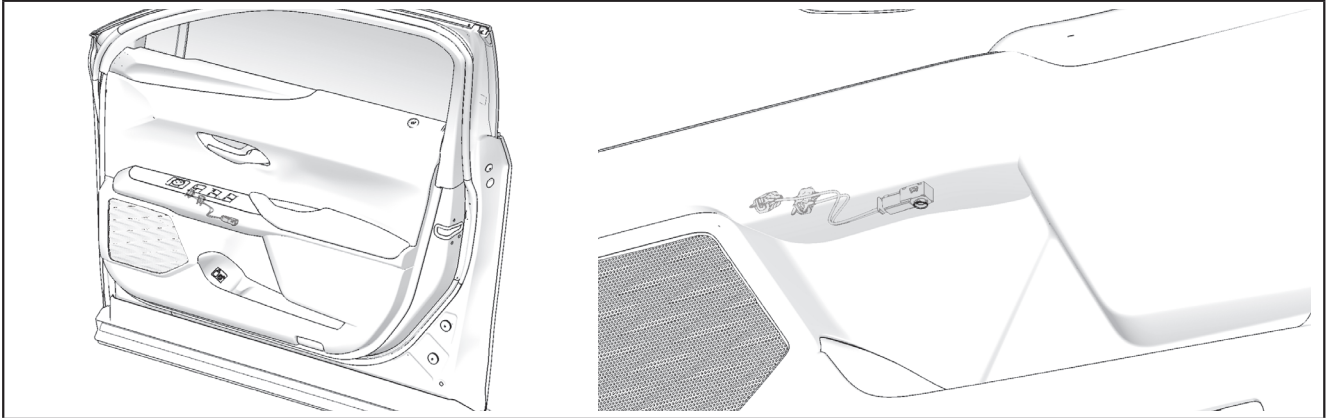
分岐コネクターの接続手順



1. 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入してください。

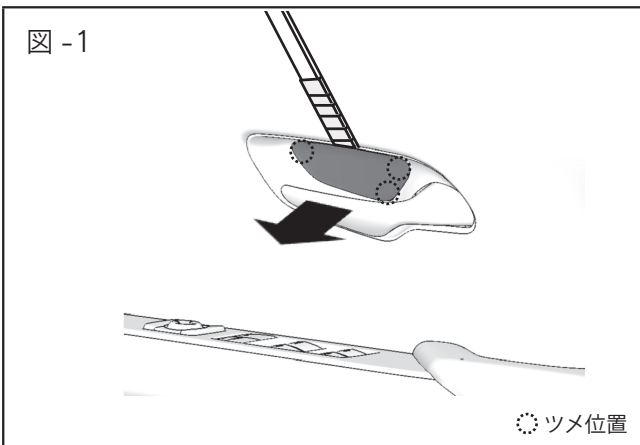
2. 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクターを折り返し、仮止め状態を作り、プライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込んでください。(クリック音を確認)

取付概要



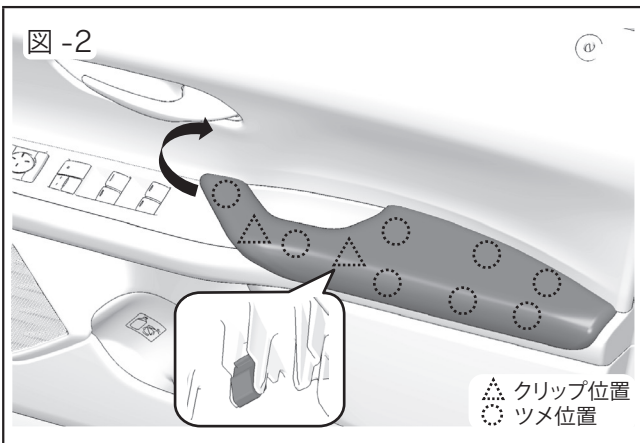
取付要領

本書では、運転席側 (RH) の場合の取付要領を記載しています。助手席側 (LH) についても運転席側と同様の作業を行ってください。



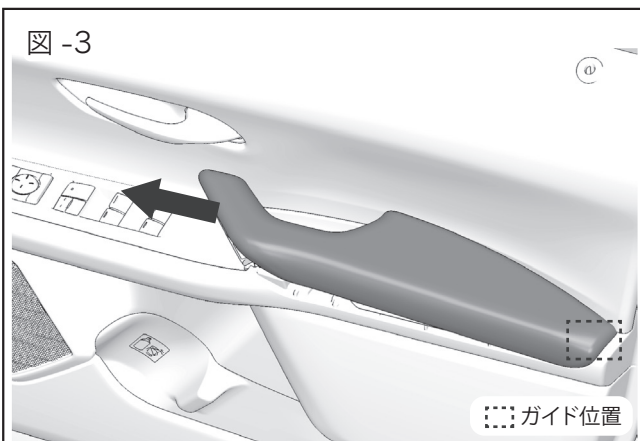
フロントドアトリムカバー (RH) 取りはずし

1. 保護テープを巻いたマイナス薄刃ドライバーを使用して、ツメのかん合をはずし、フロントドアトリムカバー取りはずす。

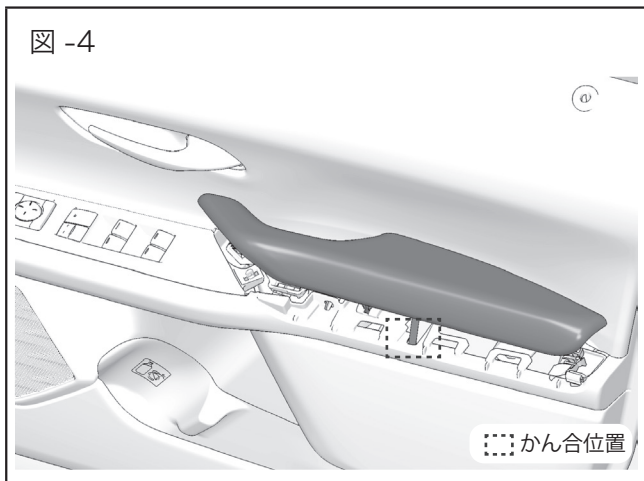


フロントアームレスト ASSY (RH) 取りはずし

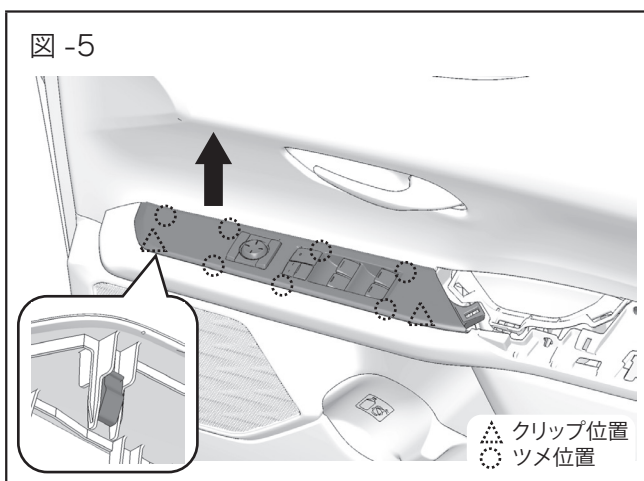
1. フロントアームレスト ASSY を矢印の方向に持ち上げ、ツメおよびクリップのかん合をはずす。



2. フロントアームレスト ASSY を矢印の方向に引き張り、ガイドをはずす。

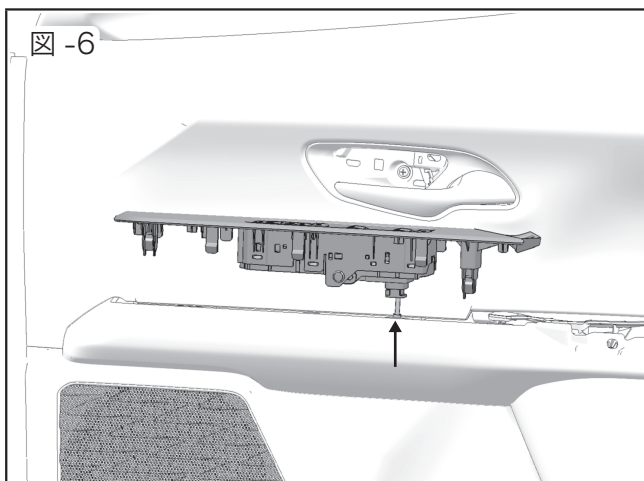


- リテーナのかん合をはずし、フロントアームレスト ASSY を取りはずす。

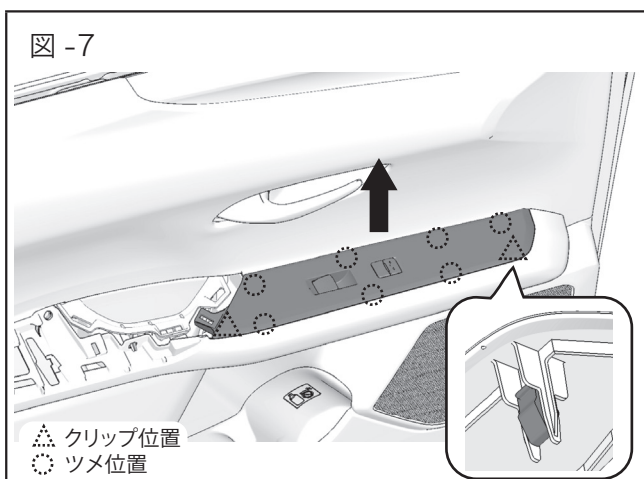


スイッチ ASSY W/ ベースパネル (RH) 取りはずし

- 矢印の方向にスイッチ ASSY W/ ベースパネルを持ち上げ、ツメおよびクリップのかん合をはずす。

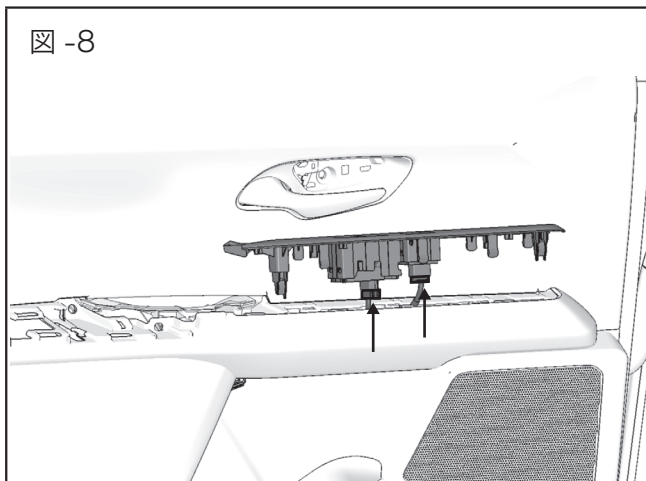


- コネクター 2 個を切り離し、スイッチ ASSY W/ ベースパネルを取りはずす。

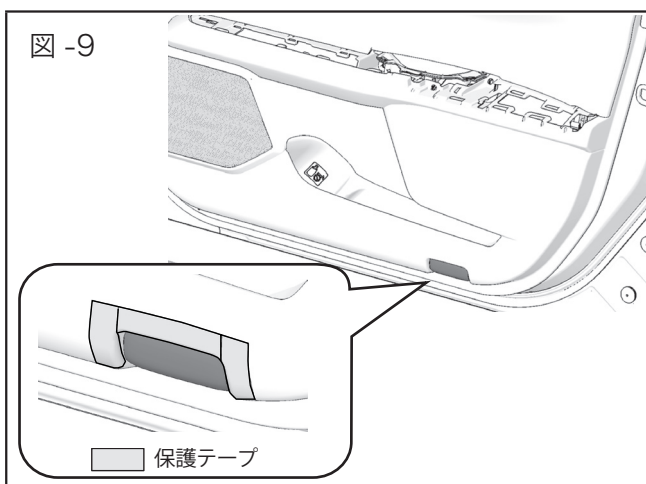


スイッチ ASSY W/ ベースパネル (LH) 取りはずし

- 矢印の方向にスイッチ ASSY W/ ベースパネルを持ち上げ、ツメおよびクリップのかん合をはずす。

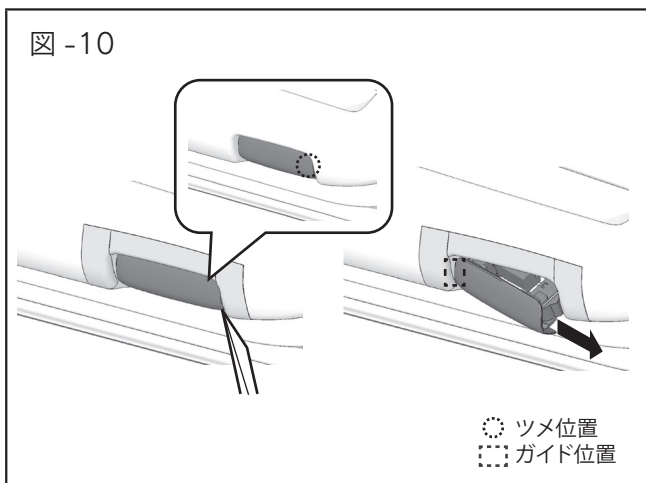


2. コネクター 2 個を切り離し、スイッチ ASSY W/ ベースパネルを取りはずす。



カーテシランプ ASSY (RH) 取りはずし

1. カーテシランプ ASSY 周辺に保護テープを貼る。

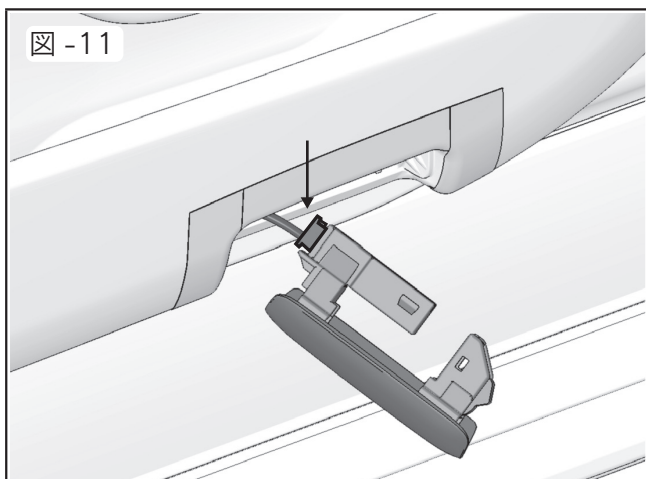


2. モールディングリムーバーを使用して、ツメのかん合およびガイドをはずし、カーテシランプ ASSY を取りはずす。

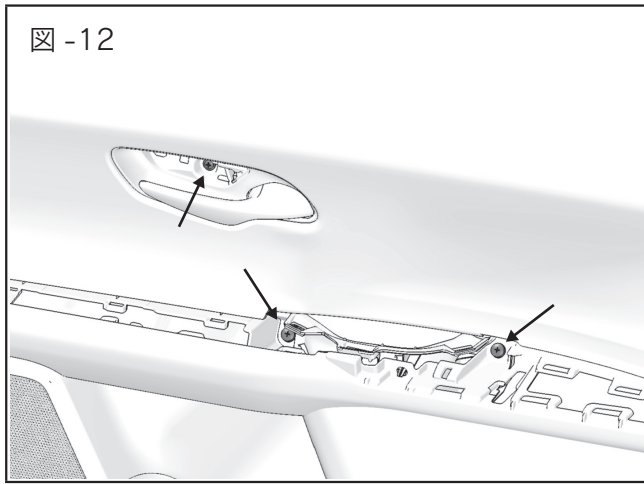


アドバイス

ツメはカーテシランプを見て右側にあります。

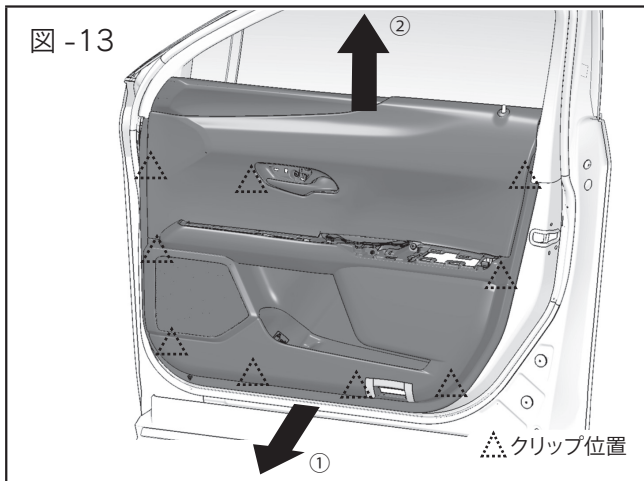


3. コネクターを切り離す。



フロントドアトリム (RH) 取りはずし

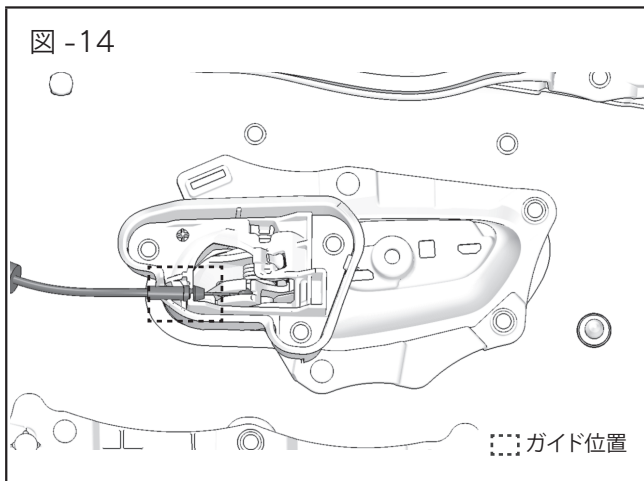
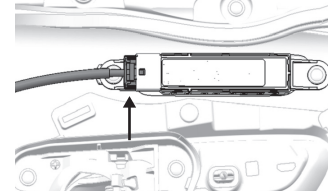
1. スクリュー 3 個を取りはずす。



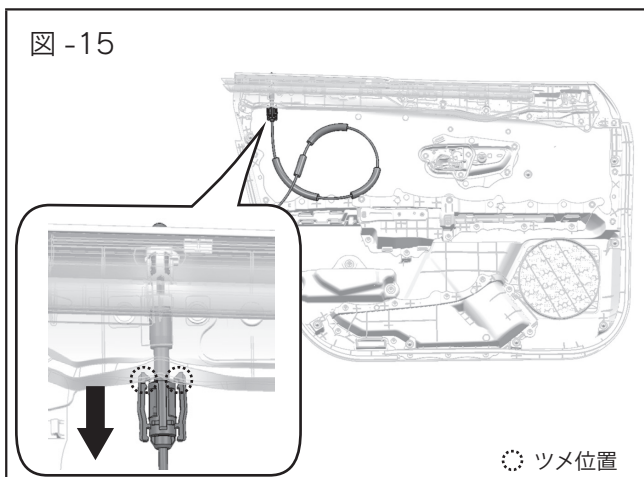
2. 矢印の方向にフロントドアトリムを持ち上げ、クリップをはずし、切り離す。

⚠ 注意

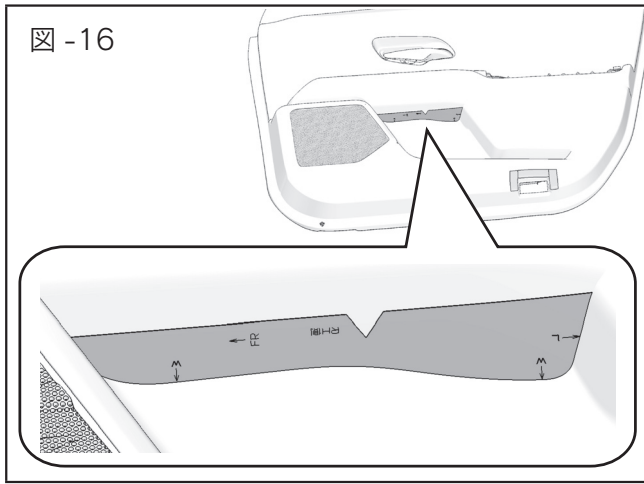
シートメモリスイッチありの場合は、フロントドアトリム内側にあるコネクタを切り離してください。



3. ガイドのかん合をはずし、ドアインサイドロッキングケーブルを切り離す。



4. ツメのかん合をはずし、ロッキングケーブルを切り離す。

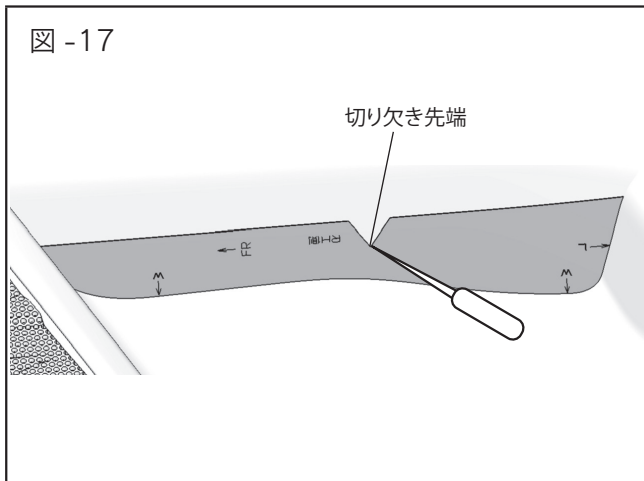


フロントドアトリム (RH) への穴あけ

1. フロントドアトリムに型紙をセットする。

⚠ 注意

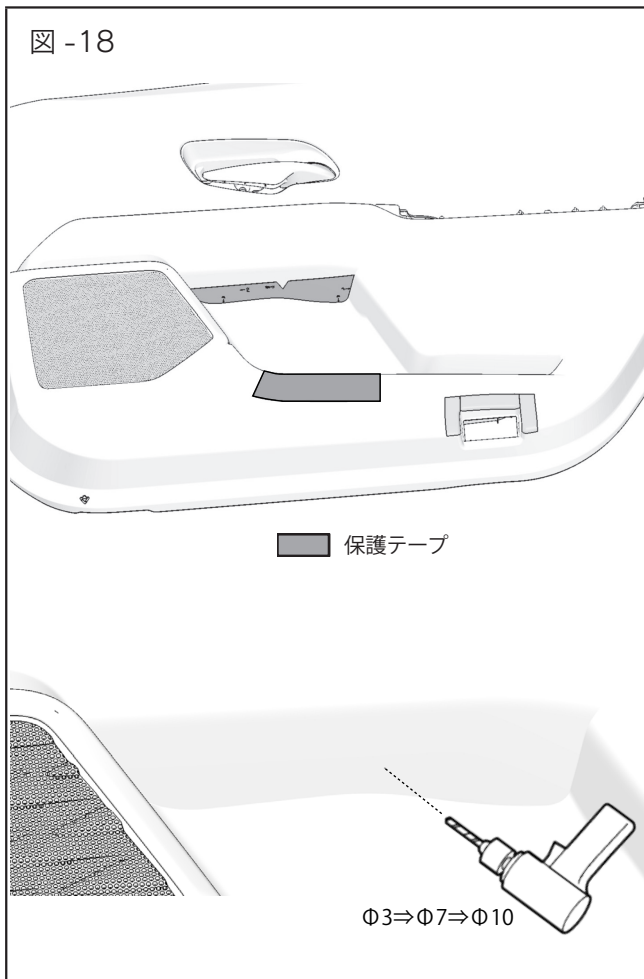
型紙は LH でも使用しますので、丁寧に扱ってください。LH 側で使用する場合は印刷面が裏になるように使用してください。



2. 型紙の切り欠き先端に合わせてケガキ針でケガキを入れる。その後型紙を取り外す。

⚠ 注意

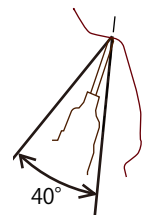
穴あけ時にドリル先端が滑らないようしっかりとケガキを入れてください。



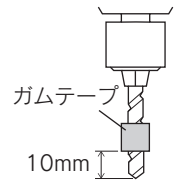
3. 穴あけ用ドリルでの傷付き防止のため、図のように保護テープを貼る。
4. ケガキ位置に下穴Φ3、Φ7、本穴Φ10の順で穴をあける。

⚠ 注意

1. 電動ドリルは、穴をあける面の面直方向に対し、L方向を軸にして約40°の範囲内で当ててください。

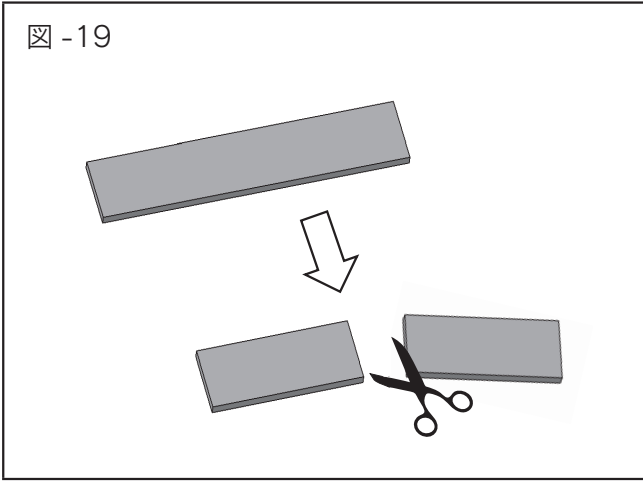


2. 穴あけ作業の際は、他部品の傷付き防止及び車両部品貫通防止のため、ドリル先端から約10mmの位置にストッパーとなるようにガムテープを巻いてください。



3. 穴部を両側バリ取りしてください。
 室外側：LED が正しく取り付けられない恐れがあります。
 室内側：お客様がけがをする恐れがあります。

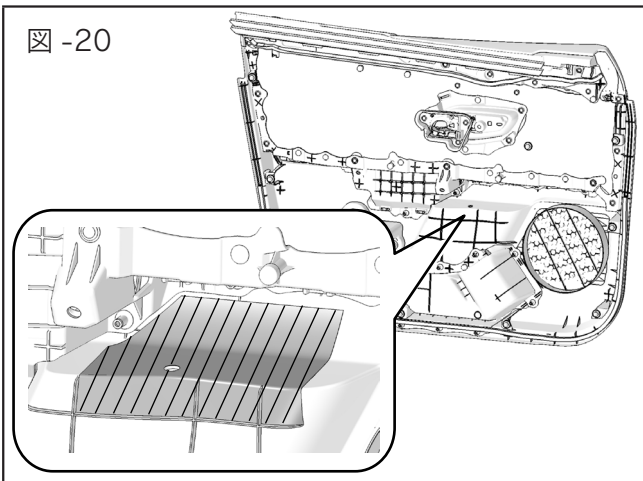
図 -19



LEDユニットの貼り付け

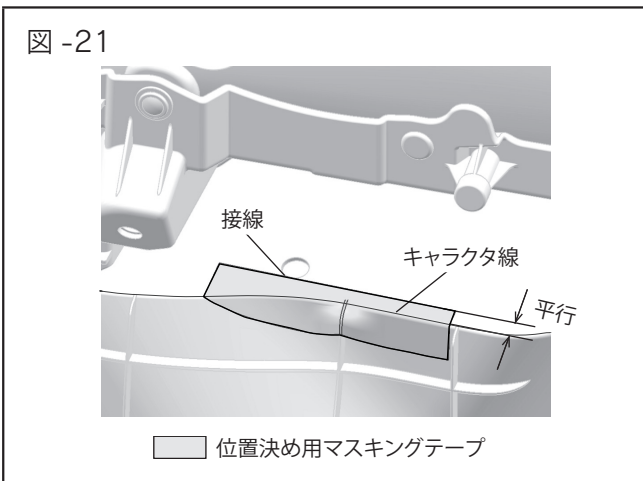
1. 両面テープを半分の長さにカットする。

図 -20



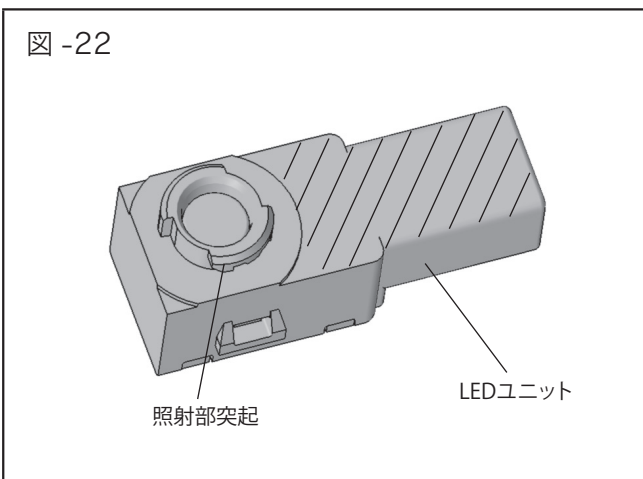
2. フロントドアトリムを裏返し、図示斜線部を脱脂する。

図 -21



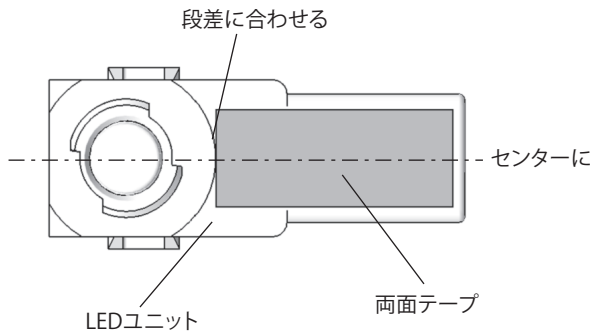
3. フロントドアトリムのキャラクタ線と平行にし
ながら、穴に接するように位置決め用マスキ
ングテープを貼り付ける。

図 -22



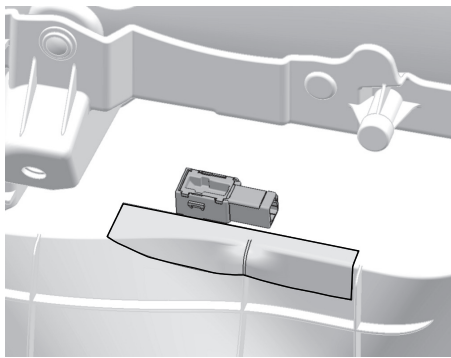
4. LEDユニットの図示斜線部を脱脂する。

図 -23



5. 手順 1 で半分にした両面テープを段差に合わせて、LED ユニットのセンターとなるよう貼り付ける。

図 -24



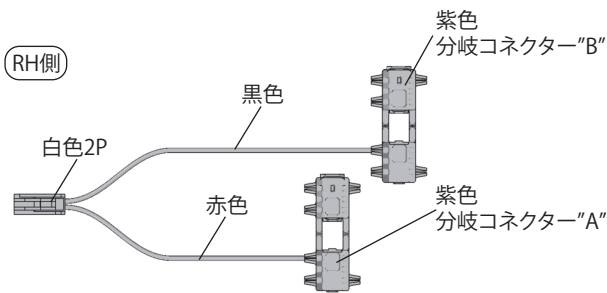
位置決め用マスキングテープ

6. LED ユニットの照射部突起をフロントドアトリムの穴に通した状態で、位置決め用マスキングテープと平行になるよう貼り付ける。その後位置決め用マスキングテープを剥がす。

⚠ 注意

LED ユニットの貼り付け不良となりますので、位置決め用マスキングテープに重ならないように貼り付けてください。

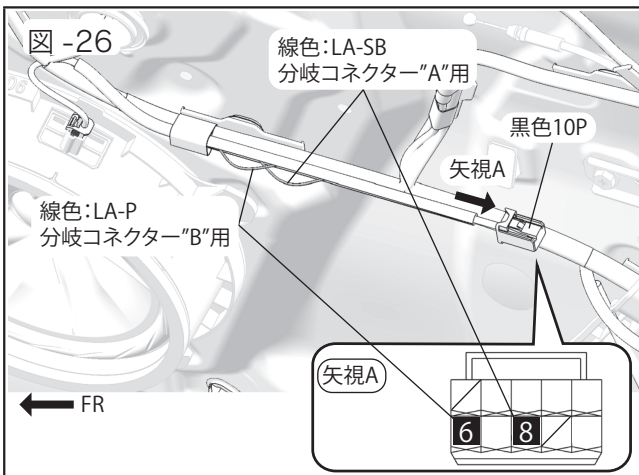
図 -25



用品ワイヤーハーネスの接続 (RH)

1. 用品ワイヤーハーネスを確認する。

図 -26



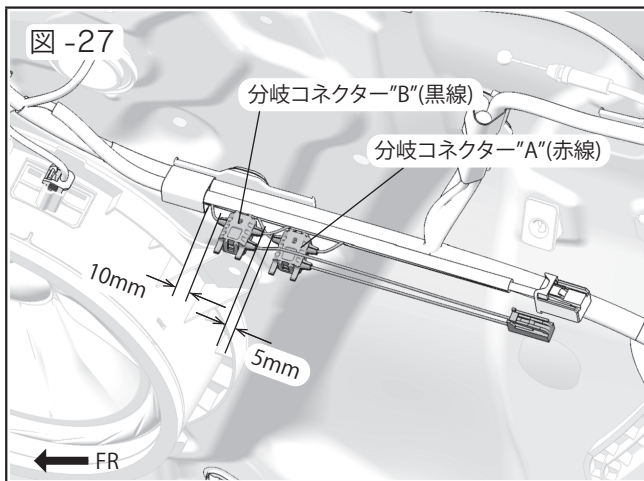
2. 車両ドアワイヤーハーネスの保護材の隙間から接続用ワイヤーハーネスを取り出す。

👉 アドバイス

対象となる車両ドアワイヤーハーネスは、図の(矢視 A)で示している黒色 10P コネクタが付いているものになります。

8 番コード: 線色 LA-SB (ラベンダー & 空色) 分岐コネクタ "A" 接続用

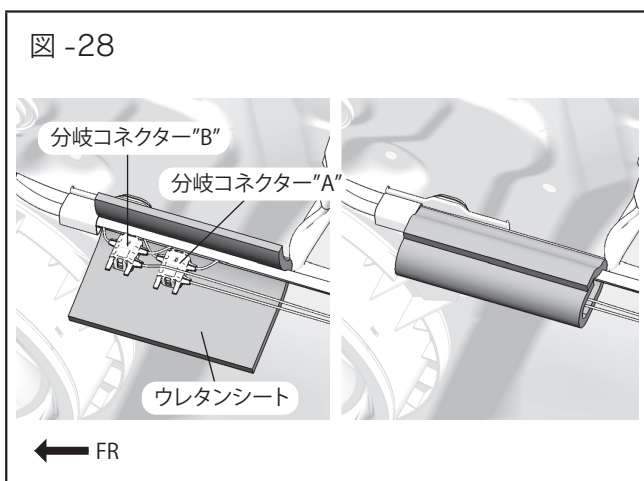
6 番コード: 線色 LA-P (ラベンダー & 桃色) 分岐コネクタ "B" 接続用



3. 図の位置に用品ワイヤーハーネスを分岐コネクタにて接続する。

👉 **アドバイス**

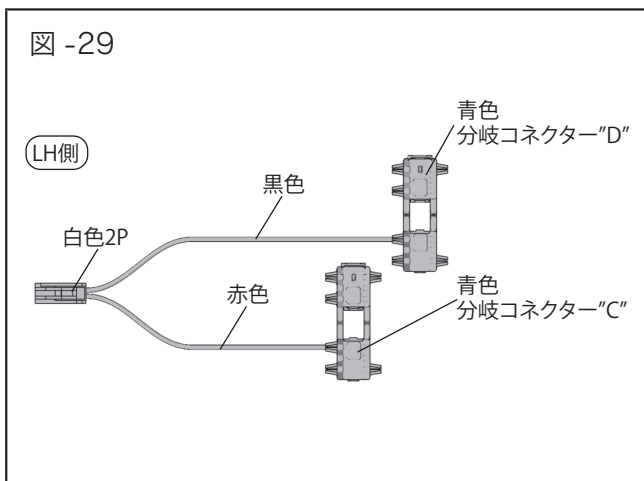
分岐コネクタによる接続は、3/15 ページの分岐コネクタの接続要領を参照してください。



4. 分岐コネクタを覆い隠すように車両ワイヤーハーネスごとウレタンシートを巻き付ける。

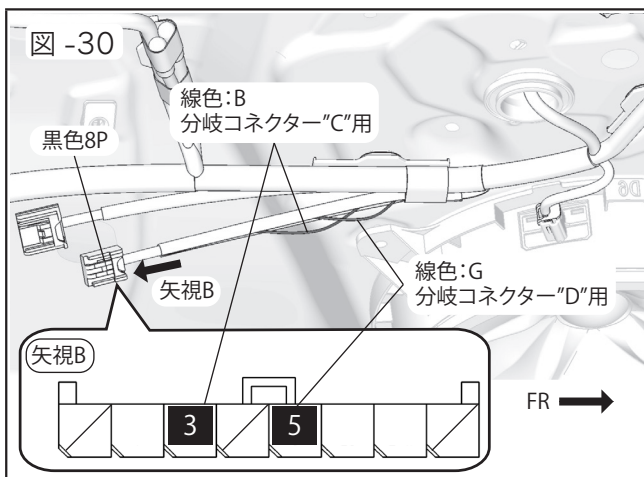
⚠ **注意**

正しく巻き付けないと異音発生の原因となります。



用品ワイヤーハーネスの接続 (LH)

1. 用品ワイヤーハーネスを確認する。

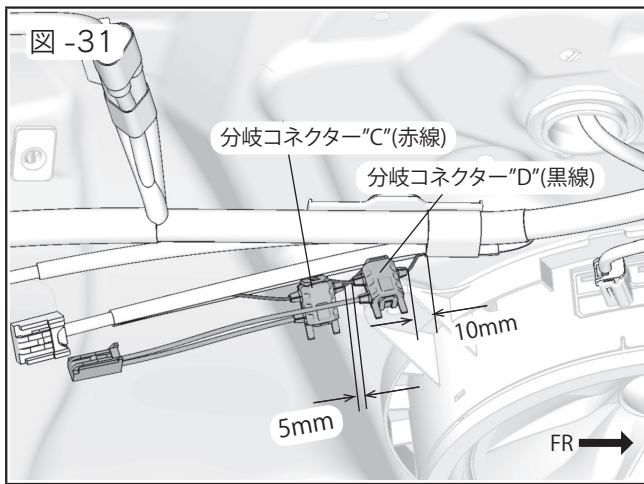


2. 車両ドアワイヤーハーネスの保護材の隙間から接続用ワイヤーハーネスを取り出す。

👉 **アドバイス**

対象となる車両ドアワイヤーハーネスは、図の(矢視 B)で示している黒色 8P コネクタが付いているものになります。

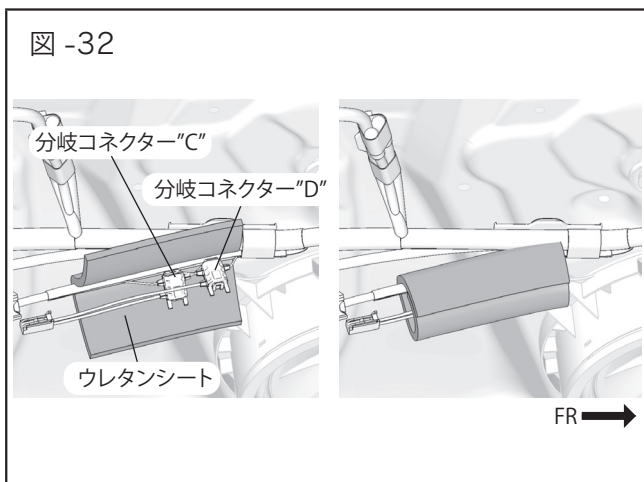
- 3 番コード：線色 B (黒色)
分岐コネクタ "C" 接続用
- 5 番コード：線色 G (緑色)
分岐コネクタ "D" 接続用



3. 図の位置に用品ワイヤーハーネスを分岐コネクタにて接続する。

👉 アドバイス

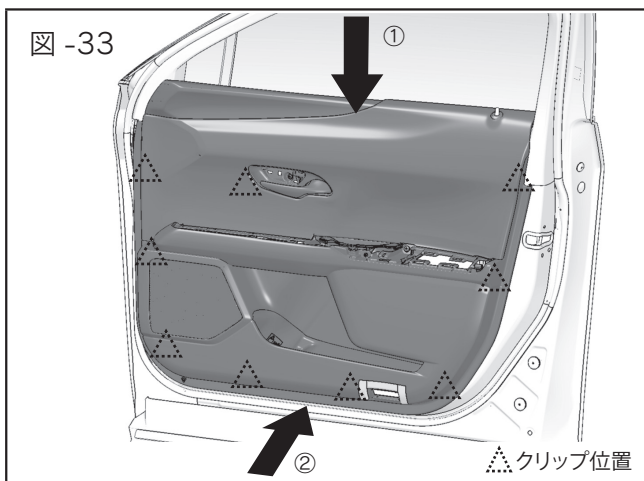
分岐コネクタによる接続は、3/15 ページの分岐コネクタの接続要領を参照してください。



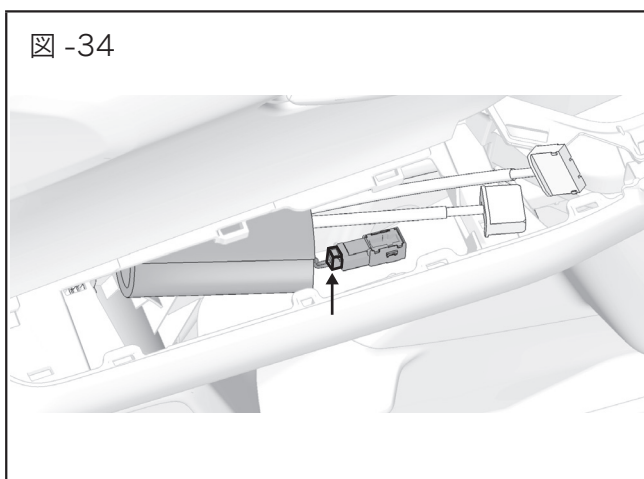
4. 分岐コネクタを全て覆い隠すように車両ワイヤーハーネスごとウレタンシートを巻き付ける。

⚠️ 注意

正しく巻き付けないと異音発生の原因となります。

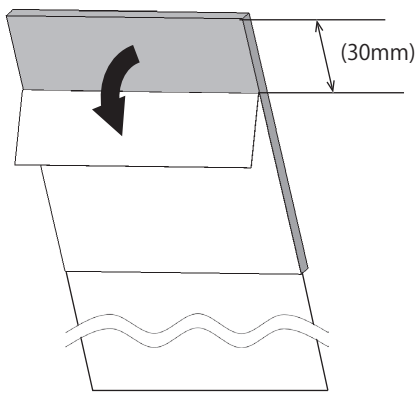


5. 図 12 - 15 の逆の手順でフロントドアトリムを復元する。



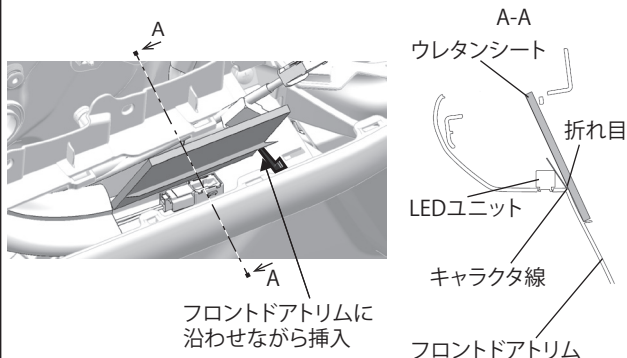
6. 用品ワイヤーハーネスを LED ユニットに接続する。

図 -35



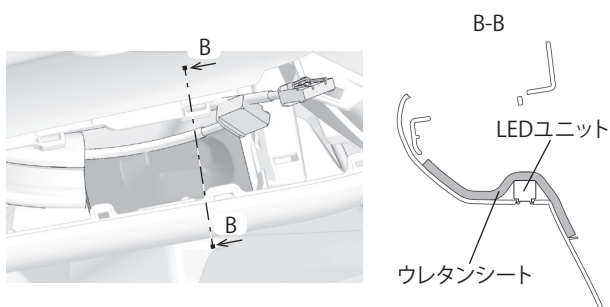
7. ウレタンシートの離型紙を 30mm 程めくって折れ目を付ける。

図 -36



8. 離型紙をめくった側をフロントドアトリムに沿わせながら挿入し、離型紙の折れ目がフロントドアトリムのキャラクタ線と一致したところで貼り付ける。

図 -37



9. 残りの離型紙を全て剥がし、LED ユニットおよびコネクターを全て覆い隠すようにウレタンシートを貼り付ける。

⚠ 注意

被水防止のため、ウレタンシートの全周に隙間ができないようしっかりと貼り付けてください。

図 -38



10. 図 5 - 11 の逆の手順でフロントドアを復元する。

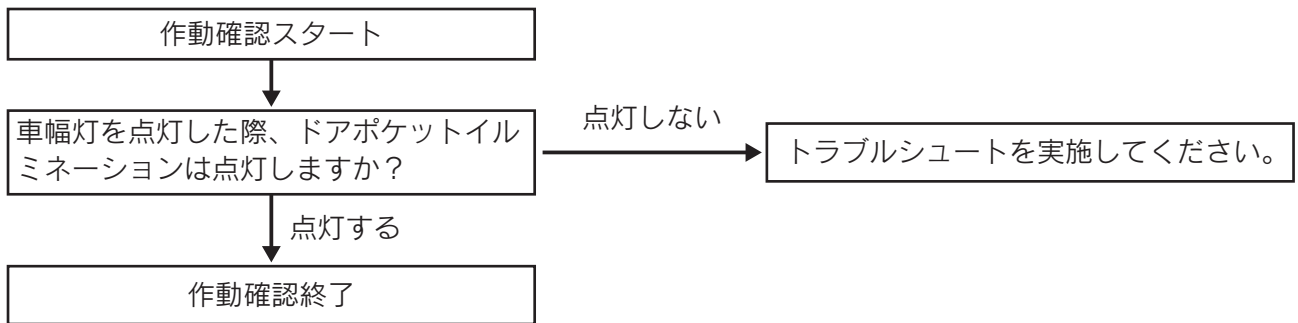
⚠ 注意

コネクター接続を忘れずに実施してください。

11. 次項以降の作動確認、復元作業を実施する。

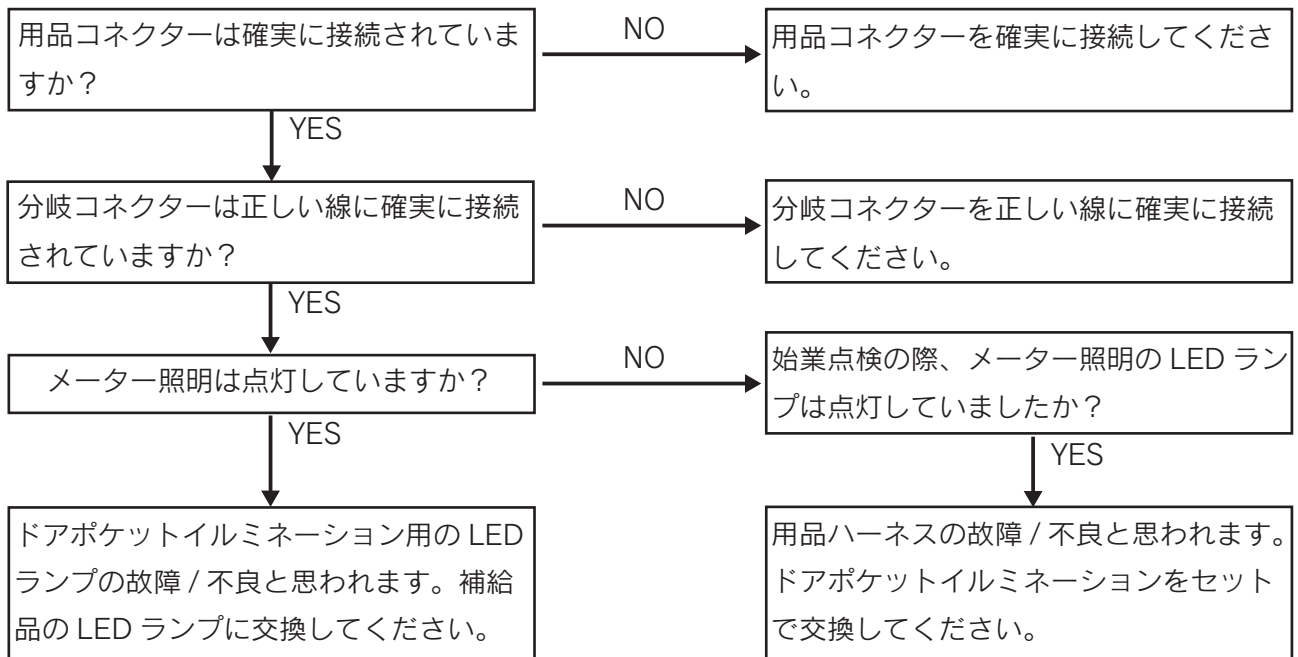
作動確認

1. 作動確認を行う前に、配線および取り付けに異常がない事を確認してください。
2. 以下の手順に従って作動確認を行ってください。尚、作動不良が発生した場合は、指示に従って点検作業を実施してください。



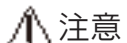
トラブルシュート

このトラブルシュートは、作動確認の作業で作動不良となった場合の点検方法を記載してあります。



復元作業

「作動確認」完了後、取り外した車両部品を下記の点に注意し、元通りに取り付けてください。



注意

復元作業は、車両ハーネス及び用品ハーネスの噛み込みや、車両部品の損傷に充分注意して下さい。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了時に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

最終確認

1. ハーネス類の噛み込みおよび、車両部品の取り付けミスがないかもう一度確認してください。
2. インジケーター等、電気系統に異常がないか確認してください。

配線図

